



實性

令和三年 第三号 お盆号発行

お盆回向のご案内

お盆は、年に一度ご先祖様がお帰りになる日です。

ご先祖様をお迎えするために精霊棚を作ります。マコモで編んだごごぎを敷きます。これは、お家で最も大切なお客様はご先祖様ですので、畳替えをするのと同じ意味合いです。笹を立て、提灯を飾るということは聖域を表します。また、生前お好きだった食べ物や季節の野菜・果物等の農作物をお供えしましょう。

このように、大切なお客様に真心込めてのご接待を心がけます。準備が整えば、お墓までお迎えに行きます。精霊棚の前では、ご家族揃ってお食事を共にして「生かされている」喜び「生かされている」感謝と慈しみの「敬いの心」のあるお盆を迎えたいものです。

● 本年の七月、八月の「お盆回向」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小しての法要となります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

七月お盆法要

七月十一日（日）

午後一時三十分より

八月お盆法要

八月十三日（金）

時間未定

※お盆法要のお塔婆はお早めにお申込み下さい。

● 通年のお抹茶のご接待等は省略させていただきます。

★ 八月お盆法要のご案内は改めてご案内致します。



お施餓鬼会ご報告

五月二十二日（毎年第四土曜日）お施餓鬼会が厳修されました。本年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため縮小しての開催となりました。

例年ですと、浄土宗北部組足立部の御住職方十三名、大本山増上寺式楽の御住職三名と大勢のご奉仕のもと行われておりましたが、昨年同様、住職・副住職の二人にてお勤めいたしました。これは他のご寺院でも同様のことです。

また、総代様、婦人部、職方、茶道部、暁月会のご奉仕もございませんでした。法要前の説教師上人による法話、並びに余興も中止となりましたにもかかわらず、壇信徒百六十名様という大変大勢の方々にご参加いただきました。

蜜を避けるため、本堂内三十名様、客殿四十名様の入替え制にてご無理をお願い致し申し訳ございませんでした。

来年こそは、通年通りの厳修したいものです。



ご先祖様

「ご先祖様」とひとまとめで言っておりますが、「ご先祖様」とは、そのお家を開きそのお家を代々守ってこられた人々のことでしょうか。あるいはご両親・ご祖父母のことを指すのでしょうか。また、何代前の故人を「ご先祖様」と呼ぶのでしょうか。

いろいろと説はありますが、基本的には、ご自身の記憶に無い方を「ご先祖様」と呼びます。すなわち、その人その人によつて「ご先祖様」とお呼びする方が異なるということです。お盆・お施餓鬼・お彼岸等で卒塔婆供養致す時に〇〇家先祖代々としておあげしますが、厳密にはご自身の知らない人が「ご先祖様」ですので、記憶にある方は、その方の法号（戒名）で供養するのが本来です。

また、ご仏壇のお位牌の数が増えたため、ご先祖位牌にまとめたいとのご相談がよくありますが、こちららも、ご自身の記憶に無い方のお位牌を先祖代々にまとめるのはよろしいと思いますが、ご自身の記憶にある方のお位牌は、お守りになられた方が良くとおすすめております。

「無財の七施」は、物質的なものではなく、誰もができる布施行のことです。

- 一、眼施がんせ……………優しいまなざしを他人に向けること
- 二、和顔施わがんせ……………微笑みを絶やさず人に接すること
- 三、言施ごんせ……………優しい言葉で話すこと
- 四、身施しんせ……………手を貸し、お手伝いすること
- 五、心施しんせ……………気配りをし、真心で接すること
- 六、床座施しょうざせ……………座のところや、寝る所を提供すること、席を譲る事も
- 七、房舎施ぼうしゃせ……………住まいを清潔に保つこと、寝所を提供すること

「財施」ばかりでなく、他の人に奉仕する「布施」の行はたくさんあると思います。

お寺にお納めいただくのは、財施の「布施」にあたります。



「布施」とは
 仏教の修行に六波羅蜜という六つの行いがあります。
 その六つとは

- 一、布施……………完全なる善意
- 二、持戒……………戒律を守る
- 三、忍辱……………耐え忍ぶこと
- 四、精進……………努力をすること
- 五、禅定……………瞑想（己を見つめること）
- 六、智慧……………智慧をもって進むこと

迷える世界から、悟れる理想の世界へ歩むための道のことです。その六度の最初にあるのが「布施」の行です。奉仕・貢献することですが、今日の言葉にて表すと、ボランティアの原点のようなものです。

「布施」には、「財施」「法施」「無財の七施」というのがあります。

「財施」は、物質的、金銭的なものを指します。

「法施」は、御仏の教えをお伝えすることを指します。

私共、僧侶が法要をしたりお説教をすることがこれにあたります。

七夕・蓮見の会

今年も境内に蓮の花が咲きます。九つの大きな蓮鉢に九種類の蓮があります。それぞれに美しく花を結びます。

例年ですと、お茶室にて薄茶一服を差し上げておりましたが、このコロナ禍において、お茶室は密になりやすく、菓子とお茶は口にするものなので、昨年同様お抹茶の接待は、中止とさせていただきます。

「七夕」は、笹を本堂前に用意致します。

どうぞ蓮の花を見ながら短冊に願い事を書きにお出かけ下さい。



Flowers in the precincts

境内の花



三寸あやめ



牡丹



大手毬

当寺には山門右横の五く六台の駐車場しかございません。

ご法事・お寺の行事（修正会・彼岸会・お施餓鬼・お盆等）には、とても不十分です。今までは、お檀家様の駐車場をその都度お借りしておりましたが、空きが無くなり、ご用意することができません。

お寺の周りには、コインパーキングが数カ所ございます。そちらも限りがございますが、ご利用頂くしかありません。その点は何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Flowers in the precincts

境内の花



☆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確です。ご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替 口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jishoji.com>

